

平成 27 年 12 月 4 日

**公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（12 月期）**

【出席者】（敬称略）

濱田、石橋、石丸、沖津、木村、葉木、坂内、松永、森、事務局天寺

1. 濱田代表理事 挨拶

11 月 1 日武田製薬主催の東日本大震災で支援した団体の事業報告会に参加した。

製薬の売上から社会貢献活動の一環で 2020 年まで助成金支援する。5 つの団体に支援金を出していた。内容は、被災地での仕事づくり、社会の貧困支援など。従業員も東日本大震災でボランティア活動に従事したとの報告もあった。私は体験を積んだ社員が、どれだけ自分の地域へ還元しているかが気になったのだが、残念ながらそれはしていないようだった。従業員に体験させた経験を会社として企業として、どうやって蓄積していくか、あるいは首都直下地震に備えた取り組みにつなげていくかが重要だと思う。

東日本大震災のから 5 年。来年の 3 月で活動資金が得られずつぶれる NPO がたくさんある。企業の支援も大切だが、支援した経験が、首都圏にフィードバックされるような循環型支援が必要となるだろう。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告（事務局天寺代読）

別添資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

別添資料「運営委員会 議事」のとおり。

▶ 理事会報告

- ・ 第 3 回定時社員総会の日時・場所・内容の報告。
- ・ 2016 年事業計画および収支予算の報告。収支予算の中で、通信費の割合が一番大きい。これを縮小するためには、会員の電子メールの活用・利用・登録が欠かせない。これについては大きな課題として整備していくようにしたい。

▶ 選挙管理委員会の設置

- ・ 役員選挙規程にもとづき、選挙管理委員会を設置。委員長は木村、委員は葉木、石丸各委員となった。
- ・ 選挙告示および役員選挙規程は HP に掲載する。

▶ 年末年始休業：12 月 28 日～1 月 4 日

4. 各地域の活動報告

<千葉県>（坂内）

▶ 県ネット・千葉中央ネット：添付資料参照。

- ・ 防災教育チャレンジプランの応募校として市原市立若宮小学校の防砂愛研究会公開授業へ招待されてきた。
- ・ 市原ネットでは、12 月定例会より自主事業を企画。誰か一人が全てを準備するのではなくメンバー全員が参加者意識を持つためにも備品等も役割分担で企画を立て実施していく方針となった。

▶ 印旛ネット

- ・ 佐倉市や八街市で防災イベントへ支援してきた。
- ・ 印西市でのイベントでは、防災フェアとしてSLがブース支援。参加していた自治会連合会から避難所運営について相談を受けた。
- ▶ 市浦ネット（木村）：添付資料参照
 - ・ 11/30市浦ネット5名で集まった。10月の船橋講座で修了した方も早速参加して下さり、意見交換と、ロープワークの復習を行った。今後、市川市災害ボランティア運営会議へ参加予定。

<神奈川>

- ▶ 神奈川県（森）
 - ・ 神奈川県教育委員会事業は、現在も継続して実施中。年明け3/16県立新庄高校で7クラスでDIG。SL支援が21名必要（10時集合10:50～11:40が授業）。
 - ・ 新人教職員の研修を夏休みで実施予定。DIGの依頼を受けた。
- ▶ 座間市（濱田）
 - ・ 防災カフェを開催。140名集まった。年明け1/18（月）～21（木）でも座間市役所にて行う。座間では防災訓練ではなく、防災カフェを普及していくように取り組んでいる。
 - ・ 健康文化都市大学での防災講座を実施。
 - ・ マイ発電プロジェクトを実施。参加者が少なく今回は3台を組み立てた。
 - ・ 藤沢清流高校での防災授業を行った。
 - ・ 座間市職員研修で語り部を読んでの研修に参加してきた。
 - ・ 中学校にて福祉の授業で防災のお話を行った。
 - ・ 避難所運営訓練を支援している。座間市はどの避難所もレイアウトは同じにしている（4方の壁側は通路として確保、中央に十字に通路。入口付近は多目的スペースとして確保）。それを基準に、各避難所で運営マニュアルを作成。必ず避難所に来ない対策をすることを訓練者に伝えている。
 - ・ 川崎麻生区社協からの依頼で2月23日公民館にて生涯学習担当の防災体験ロープワーク指導の依頼を受けた。
 - ・ ピアノ（スーパー）で売り場に防災カフェのスペースを提供。月1回。4階に空きスペースがあるので市民活動に使ってほしいかの依頼を受けた。
 - ・ 1/23、相武台駅前帰宅困難者訓練を予定。市役所へ誘導。自衛隊の炊き出しを受ける。
 - ・ 座間災害ボランティアネットワークはNPOになる方向で調整している。
- ▶ 秦野市（石丸）
 - ・ ボランティア講座を実施。28名の参加があったが、スタッフに結びつかないのが課題。
- ▶ 藤沢市（葉木）
 - ・ 12月津波防災訓練。昨年2000人集まったが今年は1000人と人数が減少。昨年と同じ訓練だと飽きられる可能性があると感じた。
 - ・ 片田教授が全国の県庁所在地の市に対して、防災教育のアンケートを取っていることを聞いた。海は津波で怖いものという印象をもつ児童生徒が多いそうだが、自然の恵みが沢山あるこのとの重要性を伝えていた。自分の講演内容も、悪い面だけでなく良い面をもっと伝えていこうと現在考えている。

- ・ パニックになると体が動かなくなる。体で覚える訓練の重要性を感じた。

- ▶ 横浜市（沖津）

- ・ 保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷区小学校での防災訓練 地域住民等 200 名が参加。神奈川県 SL ネットメンバー（横浜ネット、座間ネット、本部等）が応援した。
- ・ 横浜ネットでは 12 月に役員会を予定。

5. 各部会の活動報告

- ▶ 福祉部会...11/19 都市総合防災研究会の参加に代えた。
- ▶ 情報部会...情報提供：常総市では被災者支援総合窓口が設置されている。士業会でも窓口相談を行った。「行政の窓口開設は職員の業務時間で 8:00～17:00。相談に行きたくてもその時間に行けない」「行政職員は型通りの受け答えしかしてくれない」という相談のほか、相続や登記の方法などの相談があった。
- ▶ 応急部会...11/19 都市総合防災研究会の参加に代えた。

【次回の開催日】 1月8日（金）13時30分～

2015年11月の事業報告と今後の予定

(12月4日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

全体事項

・今年1年をふりかえる

- 1月 阪神大震災20年
- 1~3月 シェイクアウトの人口過半数超自治体(水戸市、座間市)の実現。
(年間で520万人に)
- 3月 国連防災世界会議 ~東北大学と協力し、防災教育をリード~
- 6月 火山活動の活発化、大涌谷での噴火
- 通年 普及協会の指定管理者への応募と内定
- 9月 関東・東北豪雨の発生
- 10月 防災教育交流フォーラム
- 11月 都市総合防災研究会立ち上げ

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・10/31 ロシア民間航空機墜落(調査後にテロと断定)
- ・11/13 パリでの無差別テロ事件

1-2 災害,大規模事故分野

[国内] ア 地震(気象庁発表で震度5強以上, M6.5以上、首都圏は震度4以上)

- ・11/14 薩摩半島西方沖 M7.1 深さ17km 最大震度4

イ 火山

ウ 風水害

オ 事故等

[海外] ア 地震(USGC発表、M7以上又は報道等で犠牲者多数)

- ・11/18 ソロモン諸島 M7.0 深さ13.4km

イ 風水害

ウ 事故等

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

- ・11/5 津波防災の日
気象庁
- ・11/10 エルニーニョ監視速報 続いている。

イ 自治体

ウ 被災地状況

- ・避難・転居者数(復興庁発表) 18万6602人 前月比-3939人 11/12現在

1-4 災害ボランティア等の動き

- ・関東・東北豪雨でのボランティア活動
11/16 常総市災害VCから社協地域支え合いセンターに移行。

1-5 注目すべきメディアと書籍、イベント等

- ・TV [NHK スペシャル] さまよえる原発事故のゴミ 11/21

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア 全体的な到達点

本部講座 8,945 人 公認講座 1,860 人* 計 10,805 人 11/24 現在

講座開催と受講生確保の困難に直面 打開に向けた方策を

イ 本部主催の S L 養成事業

- ・[終了]立川講座 10/31 11/7-8
- ・[終了]我孫子講座 11/14-21-28
- ・[中止]横須賀講座 12/5-12-19
- ・[募集]立教大学講座 2/26-17 3/5

ウ 大学等受託の S L 養成事業

エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

- ・JBU パワーバンク講座

B、防災・減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

- ・[報告]都市総合防災研究会セミナー11/19
- ・[予定]首都直下地震大学生の集い(仮)1/28

イ 本部受託の事業

ウ 他主催の事業への協力

C、各地域の災害ボランティア活動報告

D、その他

- ・[予定]日本法制学会・防災合同新年会 1/15 12～ ルポール麹町

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業(防災訓練事業)

ア 全体的な到達点 2015 年 累計約 521 万人

イ 特徴的な動き 新規 宮崎県、愛媛県
11 月 5 日 津波防災の日

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン(内閣府共催)事業

- ・11/24 2016 年度募集締切 過去最多応募あり

イ 防災教育普及事業

- ・[報告]東京都公園事業指定管理者 共同体で 3 グループ 17 カ所の候補者に決定。

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・[各地]学校での防災教育支援

C、被災者生活再建支援事業

D、防災研究事業

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会 議事

【理事会報告事項】

1. 第3回(2015年次)定時社員総会および講演会について
 - 1.1. 日時:平成28年3月26日(土)13時00分~14時45分
会場:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 【カンファレンスルーム6A】
 - 1.2. 講演会日時:3月26日(土)15時00分~16時30分 (会場は17時まで予約)
講演者:秦好子氏(元横浜市消防局消防監)
講演テーマ:「地域」「災害ボランティア」「女性」をキーワードに講演を依頼予定
2. 総会議案(継続審議中、本日可決したものは次の通り)
 - 2.1. 2016年事業及び予算の件
別紙「2016年(平成28年)事業計画書」及び「2016年(平成28年)収支予算書」参照
 - 2.2. 理事の定数の件
 - 2.3. 選挙管理委員会の設置
 - 2.3.1. 役員選挙規程の決定
別紙「役員選挙規程」を参照
 - 2.3.2. 選挙管理委員の選出
役員選挙規程第3条にもとづき、選挙管理委員会を置くので、第4条にもとづき次の通り委員を選任したい。
 - 2.3.3. 第1回選挙管理委員会の開催と告知内容の承認
3. 次回運営委員会
2016年1月8日(金)13時30分~

上記の各種別紙はHPには掲載しておりません

以上